

令和4年1月17日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。

oo

新年の御挨拶

農林水産省農産局技術普及課長 横地 洋

あけましておめでとうございます。

昨年中は、普及指導員の皆様をはじめ、普及事業に様々なかたちで関係されている皆様には大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。本年もまた、皆様の益々の御活躍と御発展を祈念いたしますとともに、普及事業に対する旧に倍する御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、農林水産省は昨年、みどりの食料システム戦略を策定し、今世紀半ばに向けて、生産性向上と持続性を両立させる農業の確立を目指すこととしました。生産性向上と持続性の両立は、将来、農業のタスキを渡される世代にとってとても大切なことがらで、私たち現在の世代から取り組まなければなりません。持続性を脅かす要因のひとつである気温だけをみても、2021年の平均気温は過去3番目に高く、地域別（過去30年間の平均気温対比）では、北海道・東北が0.8度、東日本が0.7度、西日本が0.6度、沖縄・奄美が0.4度、それぞれ高くなりました。年平均気温の過去最高が2020年、2番目が2019年であり、直近の3か年が年平均気温の高い上位3つを独占です。

安定的な農業生産を継続するためには、知見や技術のアップデートと、それに基づく取組が大切です。農業者の皆様の主体的な取組はもちろんですし、普及指導員の皆様の不断の活動も極めて重要です。ぜひ、それぞれの地域に適した取組を進めていただきたいと思います。私たちとしても、貴重な税金の一部をお預かりし、協同農業普及事業交付金に加え、グリーンな栽培体系への転換にチャレンジする産地を支援する予算など各地の皆様に使っていただける予算を用意しました。普及指導員の活動にも使っていただけますので、様々な関連予算も含めてぜひ御活用ください。

「普及は黒子である」と聞くことがあります。主役は農業者の皆様だということだと思いますが、農業生産の現場の大きな飛躍が期待される今、普及事業は、地域や産地を引っ張る原動力のひとつであるべきでしょう。本年は、壬寅（みずのえ・とら）と五黄（ごおう）の寅が重なる年で、ものごとが新しく生まれ、立ち上がり、力強く成長する年と言われます。本年のe-普及だよりも、普及事業に関心をお寄せ下さっている皆様にとって有用な情報を次々に提供させていた

できます。皆様の引き続きの御愛顧を、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆農業支援サービス事業者情報を公開しました！

☆農業技術総合ポータルサイトは、新たな「実用化技術情報」を追加して、昨年12月20日（月）に更新しました！

【施策情報】

☆農林水産業・食品産業の作業安全推進シンポジウムの開催について

☆6次産業化アワード・地産地消等優良活動表彰の受賞者が決定！

☆令和4年度「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）」の公募及び公募説明会について

☆農林水産研究イノベーションシンポジウム（～最新テクノロジーがもたらす明日のスマート農林水産業～）を開催します！

☆農林水産政策研究所シンポジウム

「持続可能な食料システムの構築に向けたEUの取組と我が国への示唆
-有機農業の拡大に向けて-」の開催のご案内

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

◆農業支援サービス事業者情報を公開しました！

農業者等が各種農業支援サービス（作業受託や人材派遣、データ分析サービス等）を比較・選択できる環境整備の一環として、農業支援サービス事業者のサービス内容、対象地域・品目、利用料金等についてとりまとめ、ホームページで公開しました。

普及指導員の皆様におかれましては、農業支援サービスを比較・選択する際の参考としてのご活用や関係者に対するご紹介をいただければ幸いです。

▼詳細はこちら

○農業支援サービス関係情報

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：西崎、新井（大））

（03-6744-2111）

◆農業技術総合ポータルサイトは、新たな「実用化技術情報」を追加して、昨年12月20日（月）に更新しました！

農業技術総合ポータルサイト「実用化された技術を探す！」では、最新の農業技術・品種等の研究結果やマニュアル類のうち、実用実績のある技術情報を47件追加して、昨年12月20日（月）に更新しましたので、普及指導員の皆様におかれましては、是非、ご活用いただくとともに、農業者の皆様方にもお知らせく

ださい。

▼詳細はこちら

○農業技術総合ポータルサイト

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/gijutsu_portal/top.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：安久）

（０３－３５９３－６４９７）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆農林水産業・食品産業の作業安全推進シンポジウムの開催について

【大臣官房政策課】

=====

２月１４日（月）からの１週間を、「農林水産業・食品産業作業安全推進 Week」とし、作業安全に関する情報発信を行っていきます。そのうち、１４日（月）は、オンラインで誰でも参加できるシンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、イオンアグリ創造（株）から、自社農場の GAP の取組における社内研修やリスクアセスメントの進め方について話題提供し、「個人農家ほしの」から、作業員とのコミュニケーションの工夫を通じた安全対策の進め方について話題提供します。

なお、１６日（水）は「令和４年春の農作業安全確認運動推進会議」が開催されます。これを機に、作業安全対策の重要性を再確認する機会としたいと思っておりますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

普及指導員の皆様におかれましては、農業関係者の皆様方に対し、作業安全対策の重要性の周知及び指導方をお願いいたします。

▼詳細はこちら

○農林水産業・食品産業作業安全推進 Week（イベント事務局 HP）

<https://chusanren.tokyo/anzen-week>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課（担当：室木）（０３－３５０２－６５６５）

=====

◆６次産業化アワード・地産地消等優良活動表彰の受賞者が決定！

【新事業・食品産業部新事業・食品産業政策課】

=====

「令和３年度６次産業化アワード」及び「令和３年度地産地消等優良活動表彰」の各賞の受賞者が決定しました。なお、表彰式は令和４年１月２１日（金）にリモート形式で開催します。

普及指導員の皆様におかれましては、６次産業化及び地産地消等に取り組まれている方々へ周知していただけますようお願いいたします。

大臣賞受賞者は次のとおり。

【6次産業化アワード】

農林水産大臣賞：尾鷲物産株式会社（三重県尾鷲市）

【地産地消等優良活動表彰】

○生産部門

農林水産大臣賞：鯖江市伝統野菜等栽培研究会（福井県鯖江市）

○食品産業部門

農林水産大臣賞：有限会社伊豆沼農産（宮城県登米市）

○教育関係部門

文部科学大臣賞：伊江村立伊江中学校（沖縄県国頭郡伊江村）

▼詳細はこちら

○6次産業化や地産地消等の優れた取組を表彰

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/seisaku/211215_4.html

○当日のアクセス先

https://youtu.be/V56ik_0fMeY

○本表彰に関する内容やお問い合わせ

<https://tiiki.jp/award/index.html>

事務局：ブランド総合研究所（03-3539-3011）

※お問い合わせ先

新事業・食品産業部 新事業・食品産業政策課

（担当：細川、尾崎、市原、宇野）

（03-6744-2352）

=====

◆令和4年度「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）」の公募及び公募説明会について

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

令和4年度「農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）」の公募を1月11日（火）より開始しました。

また、本事業の公募説明会を1月20日（木）にオンライン（Webexを予定）にて開催いたしますので、お知らせします。

普及指導員の皆様におかれましては、地域の皆様に広く情報提供いただくようお願いいたします。

○公募期間：1月11日（火）～2月28日（月）17時まで

○公募課題

- ・現場ニーズ対応型研究：4課題
- ・革新的環境研究：4課題
- ・アグリバイオ研究：1課題

▼詳細はこちら

○令和4年度委託プロジェクト研究公募情報

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/kobo/2022/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：浅野、高田、小埜) (03-3501-4609)

=====

◆農林水産研究イノベーションシンポジウム（～最新テクノロジーがもたらす明日のスマート農林水産業～）を開催します！

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

デジタルツインや脳波によるコミュニケーション、SpacePort 計画など、現実と仮想をつなぐテクノロジーの進展は目覚ましく、社会に大きな変革をもたらそうとしています。

令和4年1月27日（木）に開催される「農林水産研究イノベーションシンポジウム」では、最新のテクノロジーの研究動向をご紹介するとともに、異分野の研究者と、農林水産分野の研究者が一緒に農林水産業における課題解決のヒントを探ることとしています。

普及指導員の皆様におかれましては、今後とも農林水産業の課題解決についてご協力のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産研究イノベーションシンポジウム～最新テクノロジーがもたらす明日のスマート農林水産業～

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/commitee/20220106.html>

事務局：株式会社 NTT データ経営研究所（担当：伊東・増田・新見）

(03-5213-4629)

e-mail : gijutsu-maff@nttdata-strategy.com

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課（担当：岡崎）

(03-3502-7408)

=====

◆農林水産政策研究所シンポジウム

「持続可能な食料システムの構築に向けた EU の取組と我が国への示唆
-有機農業の拡大に向けて-」の開催のご案内

【農林水産政策研究所】

=====

本シンポジウムは、持続可能性の確保に取り組むEUを取り上げ、有機農業の拡大に焦点を当てたものとなっています。また、報告終了後、コメンテーター（香坂玲氏（農林水産政策研究所客員研究員（名古屋大学大学院環境学研究科 教授））、石井圭一氏（東北大学大学院農学研究科准教授）、大山利男氏（農林水産政策研究所客員研究員（立教大学経済学部 准教授））と報告者が討論を行います。

普及指導員の皆様におかれましては、ぜひご参加ください。

○開催日時： 2022年2月8日（火） 15:00～18:30

○開催方式： WEB 開催（ZOOM ウェビナー、日英同時通訳）

桑原田 智之 (農林水産政策研究所 企画官)
Jörn Sanders 氏 (FiBL Germany 社会経済研究部長)
谷口 葉子 氏 (摂南大学農学部 准教授)
酒井 徹 氏 (秋田県立大学生物資源科学部 准教授)

○農林水産政策研究所シンポジウム「持続可能な食料システムの構築に向けた
EUの取組と我が国への示唆～有機農業の拡大に向けて～
<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2021/20220208.html>

農林水産省 農林水産政策研究所 企画広報室（担当：松井、藤田）
(03-6737-9012)

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
 本年の干支は壬寅（みずのえ・とら）で、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良い年と言われています。

一方で、本年に入りオミクロン株の市中感染が急激に拡大しており、本格的な寒さを迎える1月から2月にかけて、新型コロナウイルス第6波の到来するのではという声も聞こえてきます。

皆様方には、このような中で、引続きコロナ感染防止対策を心掛けていただくとともに、本年が、新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になって欲しいものです。



<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。